

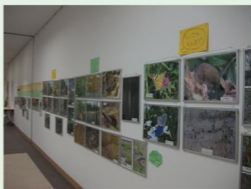
【20周年パネル展】

1/31(火)～2/10(金)、「きらん」2階の「市民活動センター」にて、「ビオトープ・イタンキ20周年パネル展～獲物のあるビオトープを目指して」を実施しました。

任意団体の活動開始から20年間の年表を作り、その流れに沿って写真を掲示。他にも、ビオトープで見られる動植物を紹介する写真パネル約40枚を並べ、盛り沢山な内容になりました。

活動の初期に関わった方々や、小学校の自然体験学習でお子さんがビオトープに来た方など、毎日沢山の方が見に来て下さいました。皆さん、今度はぜひビオトープでお会いしたいですね～！

(高橋伸枝)



【カタクリ開花】

去年の会報(第13号)で紹介されていたカタクリ。今年のゴミ拾いの日(4/2)に1輪咲いているのを見つけました！

2016年に種をまいたとのことで、本当に「7年目」に花開いたのですね。



イタンキに咲くエゾエンゴサク

その後、4/11に行った時には、斜面のあちこちにカタクリのピンクの花がひらひら。キバナノアマナやフクジュソウの黄色、ミズバショウやニンソウの白、そしてエゾエンゴサクの青い絨毯。春まだ浅い林の中に「秘密の花園」を見つけたような光景に、ため息が出ます。

植林、採種、種まき、ゴミ拾い、外来種の除去、鹿よけのネットはり。地味で地道な日々の積み重ねがあってこそこの「自然復活」に、今後も関わってゆきたいと思っています。

(高橋伸枝)

